

『トゥーランドット』あらすじ

第1幕 伝説の時代中国北京。皇帝宮殿前。皇帝の娘トゥーランドット姫は、3つの謎を解いた者を夫とし、解けない者は処刑すると布告を出す。ペルシャの王子が処刑される所へ盲目の老人亡国ダッタン王のティムールと女奴隷のリュウが現れる、そこへ偶然身分を隠し放浪していた王子カラフと再会する。処刑の時に現れた姫の美しさに心奪われたカラフは、父、秘かに思いを寄せるリュウやピン、ポン、パンの三人の役人の制止も聞かず求婚の銅鑼を叩く。

第2幕 第1場 宮殿の中の一室。ピン、ポン、パンの三人が姫の残忍さと国の状況を嘆き故郷に思いを馳せていると謎解き開始の合図が聞こえる。

第2場 宮殿前。皇帝アルトゥムが現れ、カラフに求婚の断念を告げるが彼の決心は揺るがない。そこへ姫が登場し謎解きの理由を語る。3つの謎解きが始まるとカラフは3つの謎を解く、しかし姫は自分を渡さぬと皇帝に直訴。その様子を見たカラフは逆に自分の名前を当てたら死を受け入れると謎を出す。

第3幕 第1場 夜中。北京の街に王子の名前が分かるまで誰も寝てはならぬとお触れが出る。王子と話をしていたとティムールとリュウが連れてこられ拷問を受ける。リュウは王子の名前は自分だけが知っている、彼の愛に触れれば氷のような心も溶けると言いながら剣で自害する。なお心を閉ざしている姫にカラフがくちづけをすると初めて涙を流す。それを見たカラフは自ら身分と名前を告げる。

第2場 宮殿前。朝が訪れ群衆が集まると姫は皇帝の前に出てこの者の名前は愛ですと叫ぶとカラフが駆け寄り抱き合う。群衆は歓喜の声を上げる。

指揮
諸遊 耕史



演出
土師 雅人



25
日



26
日



お問い合わせ:江東オペラ制作部
TEL080(5473)0403
mail:kotoopera@xvg.biglobe.ne.jp

ティアラこうとう
東京都江東区住吉2-28-36
地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線
「住吉」駅下車 A4出口より徒歩4分

